作業用連絡通信システム MICS Lite

No License
ミックス・ライト
MS825

クリアでノイズの少ない通話音声、そして簡単なシステム構築。連絡クッキリの明瞭ライト、導入ラクラクのお手軽ライト。無線インカムは、選んで安全のピカイチ「ミックス・ライト」。建設・構内用としてぜひおすすめしたい、ミックスのベーシックタイプです。免許・資格が不要になって、さらにライトです。

安全＋確認

安全に、選べます。ラクに、導入できます。ミックス・ライト

◎ご作業中のみなさまへ
今日から便利にお使いいただけます
安全を最優先に設計していますので
ぜひご検討いただきますよう
お願い申し上げます

ハンズフリー
標準で最大5者間同時通話
3つの親機で使える子機
免許・資格・申請不要

連絡網の整備は万全ですか?
迅速・確実な連絡と誘導。安全の合言葉は、「ミックス」。

MICS Lite

※「MS825」は、「ミックス・ライト」のシステム品番です。

ミックス万全の備え

さらに確かな業務連絡を行なうために用意したい周辺機器群。

クレーンに、デスクトップに。2タイプのスタンドマイク。

強力マグネットで車内にセット。
マグネット式スタンドマイク
CMP826

シンプルなデスクトップ用。
卓上型スタンドマイク
CMP825

用途にあわせて、使い勝手が選べる4種の子機用送受器。

ハードな現場に――。ヘルメット装着タイプ。
マイク&フォーン**CHP820**+
ヘルメットクリップ**CMB821**

マイク&フォーン
CHP820

ヘルメットクリップ
CMB821

スタンダードなヘッドセットタイプ。
マイク&フォーン**CHP820**+
ヘッドバンド**CMB820**

ヘッドバンド
CMB820

襟元にとめて、さりげなく通話できます。
タイピン型マイク&イヤホン
CMP815

CMP816(接話型)

CMP816B(接話型)

ヘッドセットとしても使えるネックセット。
首にかけて通話。ヘッドホン感覚でも使えます。
ネックセット
CHP823

子機を強化する充実のオプション製品。

電源部を合理的に。経済的な充電池と充電器。

バッテリーケース
CBT820F
●付属品と同じ電池ケース。スペアに、どうぞ。

小型ニッカド充電池
CNB820(600mAh/3.6V)
●短さ10.5cmのショートサイズで運用できます。

大容量ニッカド充電池
CNB821(1200mAh/3.6V)
CNB833(1500mAh/3.6V)
●たっぷり長時間運用。バッテリーケースと同サイズ。

急速充電器
CSA820
(CNB820/821用)
CSA833
(CNB820/821/833用)
●CSA833は、充電池のメモリー効果を防ぐリフレッシュ機能つき。

CSA820

CSA833

6連用標準充電器
CSB820
(CNB820/821用)
●最大6個の充電池に同時チャージ。

子機の携帯性をさらに高めます。

アンテナ(ショートサイズ)
CAT427

本体を傷やショックから守ります。

小型レザーケース
CLC820
●小型ニッカド充電池CNB820装着時用のケース。

標準型レザーケース
CLC821
●バッテリーケースまたは大容量充電池CNB821/833装着時用。

●基地局用の外部スピーカーもあります。ご相談ください。

FAQ

「ミックス・ライト」の、ここが知りたい。
よくあるご質問にお答えします。

Q 5人がいっしょに話したら、話が混乱してしまうのでは?

確かに、その通りですが、実際は、5人が同時に話すということは、ほとんどありませんから、大丈夫。日常の会話でも、そういうケースがないのと同様ですね。むしろ、5人がいつでも通話参加できる状態にあり、他の人たちが通話中でも、いつでも割り込んで連絡できるのが、この無線システムの大きな特長なのです。

Q 子機だけで3者間通話ができればいいのですが……。

子機間だけの通話でも、親機RP825が必要になります。ちょうどコードレス電話のように。ミックス・ライトに限らず、無線インカムは、一度、親機を通して、音声が中継される仕組みです。つまり子機が送信した信号は、すべて親機で「ミックス」されて、ふたたび子機に送信されるのです。「ミックス」という名前は、こんなところからもきています。

Q ミックス・ライトで、MCA方式にすることはできないのですか?

残念ながら、子機が無数に使え、全子機に通話権があるミックス独自のMCA方式には対応していません。「ミックス・ライト」は、少人数利用に特化した無線インカムだからです。「ライト」は、機能限定またはシンプル&ライトバージョンという意味で名づけています。

Q 同じミックスでも免許が必要な場合というのは、具体的にどういうケースでしょうか。

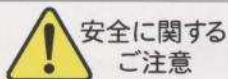
無線インカムは、総務省令により、移動局はすべて免許・資格・申請不要になりました。無線のジャンルでいえば、特定小電力無線に分類されるようになったのです。ただし基地局利用――親機を固定しての利用には、従来通り免許が必要になります。また高利得(高性能)アンテナを親機に接続した場合も、そうです。もちろん免許が必要といっても、申請手続きだけで、スタンダード側で代行しますので、ご安心ください。

Q 免許が不要になったようですが、従来のミックスとの互換性はあるの?

従来の「ミックス・ライト」をお使いのユーザーの方でしょうか。もちろん完全に互換があります。システム拡張による増設など、なんの問題もありません。電波法上で無線インカムの無線種別の「扱い」が変わっただけに過ぎないからです。免許不要になって、増設も手軽になりました。

「ミックス・ライト」システム構成機器主要定格

親機RP825【一般仕様】●送受信周波数:413.700MHz～414.14375MHz(受信)、454.050MHz～454.19375MHzのうち1波(送信)●電波形式:F3E●通信方式:複信・半複信方式●電源電圧:DC12～24V●発振方式:PLLシンセサイザー方式●周波数の許容偏差:±4.0ppm●周波数切替方式:PLLシンセサイザー制御方式●S/N:55dB以上(コンパンダ回路使用)●寸法:175(W)×65(H)×215(D)mm(突起物は除く)●質量:約3.0kg【受信部】●受信方式:周波数コンバータを併用したトリプルスーパーヘテロダイン方式●受信感度(中継感度):-6.0dBμV±3dB●受信出力(SP出力):3.5W以上(歪率10%にて)【送信部】●送信出力:1mW以下

子機HX833【一般仕様】●送受信周波数:400MHz帯の上り(送信)36チャンネル、下り(受信)24チャンネル●電波形式:F3E、F2D●通信方式:複信方式●定格電圧:4.5V●発振方式:水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式●周波数の許容差:±4.0ppm●アンテナ:ヘリカルアンテナ(着脱可能)●周波数切替方式:手動切替/自動切替●寸法(突起物含まず):58(W)×119.5(H)×22(D)mm(CBT820F装着時)●質量:約200g(単3乾電池3本含む)【受信部】●受信方式:ダブルスーパーヘテロダイン方式●受信感度:-1.0dBμ以下(12dB SINAD)●スケルチ感度:-4.0dBμ以下【送信部】●送信出力:1mW●変調方式:可変容量ダイオードによる直接周波数変調

安全に関するご注意
●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。●不安定な場所や水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。事故、火災、感電、故障などの原因となります。●「保証書」は、記入事項をご確認のうえ、大切に保管してください。●「取扱説明書」に従って、正しく配線を行なわないと使用できません。

札幌営業所	〒060-0032	札幌市中央区北2条東7-82	☎011-231-5000
仙台営業所	〒982-0011	仙台市太白区長町3-7-13	☎022-308-3466
東京ビジネス営業所	〒153-8645	東京都目黒区中目黒4-8-8	☎03-3719-2171
名古屋営業所	〒465-0024	名古屋市名東区本郷2-75	☎052-776-8521
大阪ビジネス営業所	〒564-0052	大阪府吹田市広芝町5-3	☎06-6337-6501
広島営業所	〒730-0042	広島市中区国泰寺町1-3-29	☎082-243-7228
福岡営業所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町4-8	☎092-441-9121
開発東京営業所	〒153-8645	東京都目黒区中目黒4-8-8	☎03-3719-2002
開発大阪営業所	〒564-0052	大阪府吹田市広芝町5-3	☎06-6337-6578

お求めは信用とサービスの当店で

STANDARD Radio Communications
株式会社スタンダード　本社:〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8
☎03-3719-2231　http://www.standard-comm.co.jp/

●お問い合わせは、最寄りの販売店または(株)スタンダードまで、どうぞ。

●製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります。●製品の写真は、印刷の関係上、実際のものと多少異なる場合があります。●このカタログの内容は2001年6月現在のものです。　PA11006DSG

ハンズフリーで、標準最大5者間のクリアな同時通話

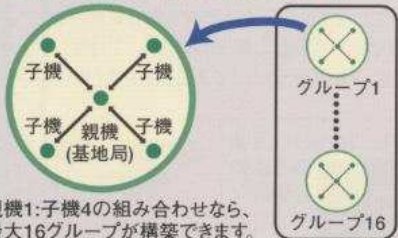
迅速かつ正確な誘導・連絡が強く求められている建設現場や構内……。なかでもキメ細かなチームワークを必要とするグループ作業には、安全性の確保のためにも、仕事の能率を高めるためにも、いまや無線が欠かせないものとなっています。複数の人が同時に日常の会話のように話せて、話が早い無線インカムをご検討ください。でも、これまでは免許のことや複雑なシステム機器などなど。ちょっと導入が面倒というイメージはありませんでしたか。ご安心ください。無線インカムは、規制緩和により、ついに免許・資格・申請不要になりました。しかもスタンダードのMulti InterCom System——MICS(ミックス)なら、わかりやすい構成機器で、ラクに連絡網づくりができます。そこで、特におすすめしたいのが、建設・構内用として最適化されたベーシック・タイプの「ミックス・ライト」です。少人数単位での利用にもムダがなく、大規模ニーズにもフルに対応できる標準最大5者間同時通話。騒音下でもクリアにメッセージ伝達ができるその高品位な通話品質。極めてシンプルなシステム構成と行き届いた入出力系統による優れた設置性。そして3つの親機の設定を記憶して、別グループへの通話参加を初めて可能にした子機。現場のみなさまのさまざまなご要望の声をミックスして開発された製品です。

バッチリ 実力主義

標準で最大5者間同時通話。しかも別グループにワンタッチで入れる。大規模ニーズにも即応するシステムです。

5者間同時通話で、全16グループ構築OK。
ゆとりの通話回線で安全作業を支援します。

複数の子機から、クレーン車内などにセットした親機(制御主装置)から、いつでも会話に加わることができます。たとえばグループ作業で、2人のスタッフが通話していても、いつでも瞬時に割り込んで日常会話のように連絡がOK。もちろん作業をしながら話せるハンズフリー。標準でゆとりある最大5者間同時通話ができる無線インカムシステム「ミックス・ライト」。名前はライトですが、大規模ニーズにも対応できる十二分な実力です。また子機4台・親機1台のフルシステムでは、全16グループの構築が可能。子機2台・親機1台のシステムなら、最大24グループまで拡張できます。もちろん、通話内容のモニターだけなら、子機は自由に増設できます。

複数の子機と親機間で
いつでも話せる状態になっています。

※標準チャンネルとインターリーブチャンネルのグループを混在させる場合、隣接チャンネルでの混信にご注意ください。

業界初。子機は、最大3グループの設定を記憶。
ワンタッチで移って通話参加ができます。

無線インカムの常識を変えました。1親機の専用子機から自由なマルチ対応へ。最大3タイプのミックスで使える効率のいい子機HX833。別システムのグループの連絡網も記憶し、瞬時に通話に加われる画期的ともいえる機能を備えました。これが、業界初のシステムメモリー。たとえば大規模なクレーン作業による共吊りなどなど。本体上部のキーを押すだけで、ほぼシームレスに別グループに移って話ができますので、共同作業の能率も安全性もグンとアップします。万一の子機の破損といった場合でも、他システムからの代替えができて便利ですね。また連絡が伝わっているかどうかがわかる圏外アラームで安心。

システムメモリー表示→ [3-43

■3つの親機の設定を記憶する子機。

シッカリ 即戦力化

ライセンス不要で、今日から働きます。将来のシステム拡張もできる仕組みで、いつでも即戦力の「ミックス・ライト」。

免許はもちろん資格も申請もいりません。便利な無線インカムが簡単導入できるようになりました。必要なときに即戦力で働きます。またさきざき、同時通話回線数を増やしたいという場合にも、即対応できる設計。親機1:子機6のプラス2回線、親機1:子機8のプラス4回線を実現する増設ユニットも用意しています。導入から将来の発展まで、つねに即戦力対応できる徹底合理主義の「ミックス・ライト」です。

※写真は親機RP825+マグネット式スタンドマイクCMP826、子機HX833+マイク&フォーンCHP820+ヘッドバンドCMB820です。

はっきり伝わらなければ、安全は徹底で

クリアに伝わる。安全が

。建設・構内用として考えつくされたミックス・ライト。

ハッキリ 快適通話

大切な用件をはっきりと伝えます。グンと高音質で、混信・ノイズに強いミックス独自の安心設計。

せっかく安全誘導のために導入した無線も、正確にメッセージ伝達ができなければ、文字通り、話になりません。特に騒音下の建築現場だったら……。ミックス・ライトなら安心です。理由があります。中枢となる親機(制御主装置)RP825に、ミックスならではの独自設計を施しました。受信部には、高感度で混信に強い、まさにワンランク上のトリプルスーパーヘテロダイン方式を採用。さらに通話品質を高める音声回路のコンパンダーも、贅沢な仕様にしました。受信部でそれぞれ4台独立して搭載することにより、一段とクリアな通話音質を実現。またイグニッションノイズなどをカットするノイズフィルターを電源部に使い、クレーン車での使用も快適にしています。しかもご覧の通りの大型スピーカを内蔵し、子機からの連絡をパワフルかつ明瞭に再生します。電波が混雑した現場環境や騒音下でも、的確なメッセージ伝達を行ない、安全性を一層高める「ミックス・ライト」です。さらに複数システムが密集しがちな大規模建設現場などで、便利な装備をしました。標準チャンネルの間にあるインターリーブチャンネルも内蔵。標準チャンネルでの混雑を回避して連絡することができます。

機同士での直接の通話はできません。
受器が必要になります。

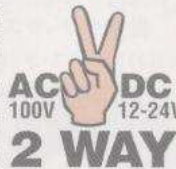
ない——。
わる。

ラクラク 現場対応

クレーンに、構内デスクトップに。ミックス・ライトは、設置がラクで簡単導入。携帯機もコンパクトで節約設計です。

コンパクトな一体型の親機。AC電源をはじめ、現場即対応の充実した入出力系統。

いろんな現場の環境をしっかり考えました。日常の業務に支障なく、スムーズにラクに導入できる「ミックス・ライト」です。システムをコントロールする親機(制御主装置)RP825は、省スペース設計のオールインワンタイプ。ブラケットを使いクレーンの車載用として、そのまま工場・倉庫などの構内デスクトップ用として簡単にセットできます。しかも大がかりな設置・配線工事はほとんど必要ありません。電源とアンテナをつなぐだけでOKです。親切なAC/DC2電源対応。クローラクレーンなどでの車載に便利なDC12～DC24Vはもちろん、タワークレーン車や構内利用を考慮してAC100Vも使える設計にしています。またケーブル付きM型アンテナコネクターを備え、アンテナの取り付けもラクにしました。さらに外部スピーカーも接続可能。たとえばクレーン車内で、親機をオペレーターから離れたところに取り付けておくこともできます。

AC 100V DC 12-24V 2 WAY

アクティブな現場になるほど真価を発揮する小型で合理的な携帯型無線機HX833。

ミックスならではの子機です。携帯のジャマにならない薄型フラットなスタイリングで、軽さわずか200g(単3乾電池3本・アンテナ含む)。小型充電池を使えば、約10cmのショートサイズに。作業の重荷にならない機動的な無線機です。またプロ用としての信頼性を追求しました。振動やショックに強いダイキャストシャーシと丈夫なポリカーボネート製ボディを採用。過酷な現場でも安心してご利用になれる堅牢構造です。さらにバッテリー寿命にもご注目ください。作業中に、急な電池切れがおきては大変です。単3アルカリ乾電池で連続約13時間。1日の業務を余裕でこなすスタミナです。バッテリー交換のタイミングもディスプレイとアラームで親切にお知らせします。

■子機HX833の電池交換の目安

電池の種類	連続通話時間
単3アルカリ乾電池	約13時間
単3マンガン乾電池	約4時間
小型ニッカド充電池CNB820	約4時間
大容量ニッカド充電池CNB821	約9時間
大容量ニッカド充電池CNB833	約11時間

現場にあわせてお選びください。
多彩な送受器を用意しました。

子機の必需品となる送受器。ヘルメットタイプやネックタイプ、各種タイピン型など、作業現場にあわせて、多彩なマイク類のなかから選択できます。接続は、確実に固定できる特殊コネクターを採用し、不意の脱落がないようにしました。ここがミックスならではの気配りです。また、親機RP825用のスタンドマイクは、2タイプ。クレーン用には、便利なマグネット式がおすすめ。フレキシブルマイク部も接続ケーブルもひとまわり長く、ベストなポジションにセットして、良好な集音が可能です。構内用は、シンプルなデスクトップタイプをご利用ください。

ナルホド 安心導入

機械設備などに影響のない安全設計。さきざきの電波環境まで考えた将来設計。安心の「ミックス・ライト」です。

たとえば構内利用など、設備・機器類の電子回路に影響がない微弱な1mW出力ですので、安心してご導入いただけます。また隣接する他の現場で、万一、同じチャンネルを使用していても、わずらわしい音声をカットするトーンスケルチにより、静かに受信待機ができます。チャンネル変更をはじめ、全体の各種設定も親機側から集中コントロールできるようにしています。